

# ケーブルテレビの将来像

## ～地域における新ビジネスの可能性～

平成30年3月23日  
総務省中国総合通信局

有線放送課長 総務技官 石田 隆章

放送を巡る諸課題に関する検討会  
地域における情報流通の確保等に関する分科会  
報告書

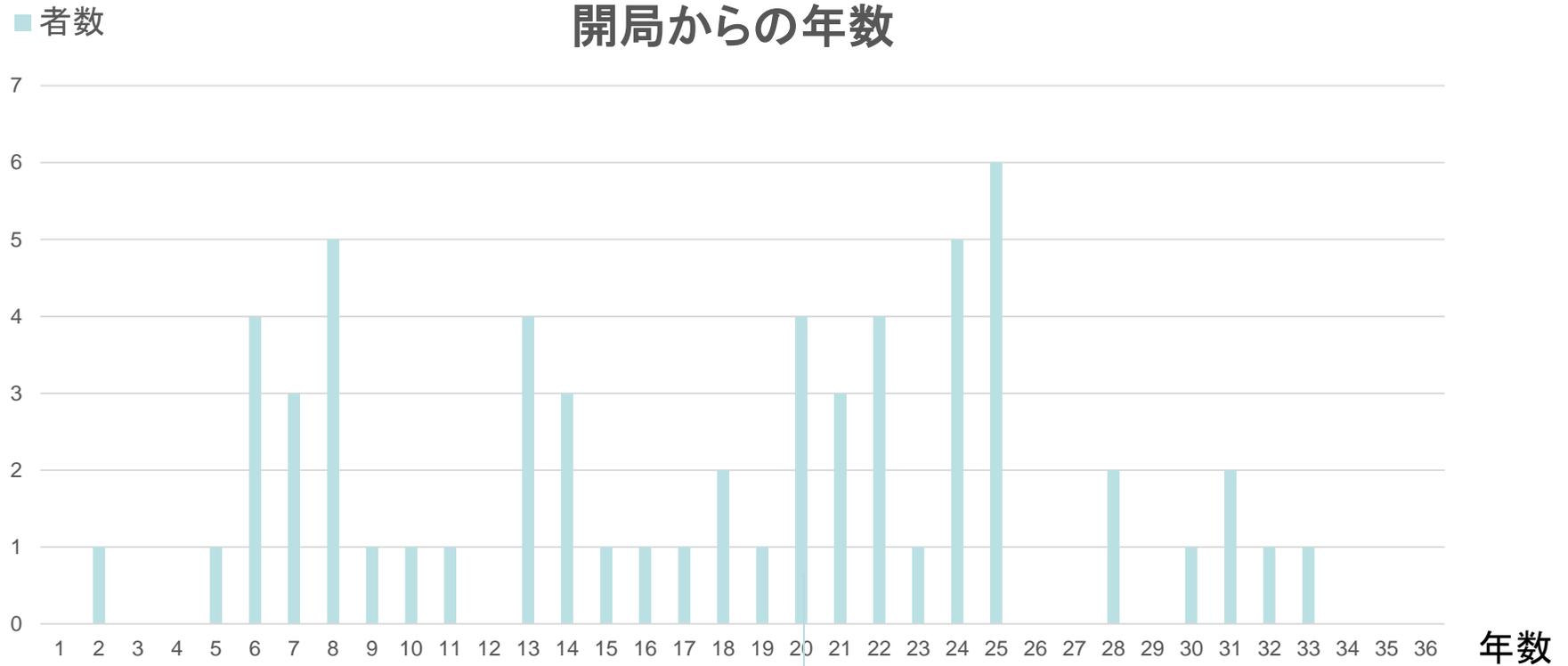
## ケーブルビジョン2020+

～ 地域とともに未来を拓く宝箱 ～

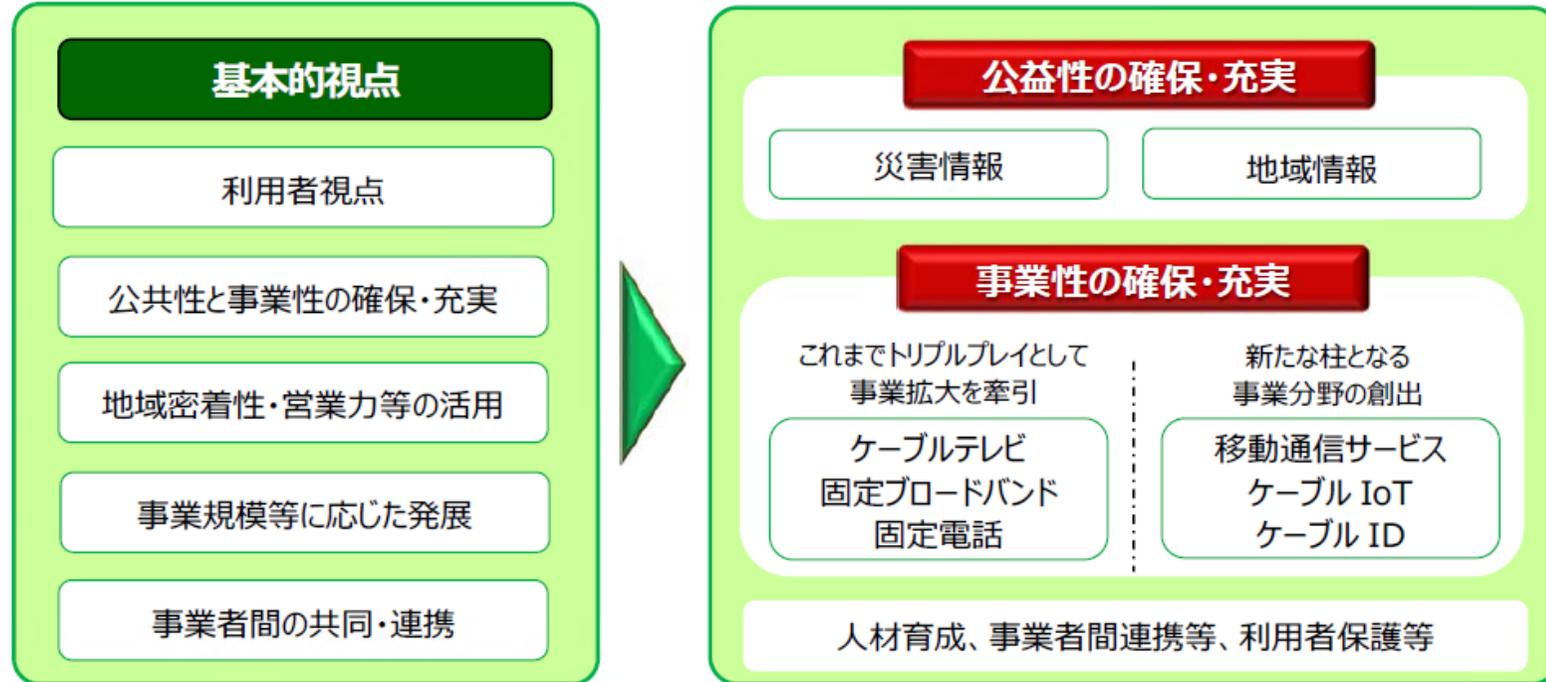
2017年5月  
ケーブルテレビWG

### 副題「～地域とともに未来を拓く宝箱～」

『**地域**は宝の山』。ケーブルテレビは、**地域**=宝の山を支え、包み込む存在であるとともに、宝とともにあって輝きを放つ「宝箱」。そして、この報告書そのものも、ケーブルテレビが**地域に寄り添い**ながら、未来を拓いていくための知恵とアイデアに溢れた「宝箱」でありたいとの願いも込められている。



30者は開局から20年以上  
新成人は生まれた時からケーブルテレビ



- ✓ CSRとしての地域貢献(地元企業だからこそできること)
- ✓ 地域課題解決型の地域貢献(地元のケーブル事業者の強みを生かしてできること)
- ✓ 存事業分野の事業拡大・利用拡大(ブランドを生かした強みの創造)
- ✓ 新たな柱となる事業分野の創出(変化への適応)

# ケーブルネットワークの利活用事例



## ケーブルテレビ事業者の地域連携強化事例 目次



10 mm

# テレビだけではないケーブルテレビのキーワード

- ✓ 地元企業だからこそできること
  - ✓ ケーブルテレビ会社である前に地域の会社
  - ✓ 愛され、身近で存在感のある地元企業であり続ける。
  - ✓ ホームページはすべての利害関係者に向けた発信ツール
- ✓ 地元のケーブル事業者の強みを生かしてできること
  - ✓ 自治体との良い関係は必須(頼りにされる存在か?)
  - ✓ ICT/IoTは地域の課題解決にとっての強力なツール
  - ✓ ITゼネコンが追い付けない強みは?
- ✓ ブランドを生かした強みの創造
  - ✓ これまで積み上げたブランド
  - ✓ 協業が生み出すイノベーション
  - ✓ 外注・内製
- ✓ 変化への適応
  - ✓ 名は体を示さない
  - ✓ 業態の再定義(ケーブルテレビ～インフラ～地域のITゼネコン・・・)
  - ✓ ネットの活用(相乗効果)